

時期早尚と考えた。提示には年明けぐらいいまでの期間が必要だと思っている。

自分の判断だが、このプロジェクトメンバー、プロの皆さんの力量判断もこの5カ月かけて行った。非常に大きな販路をお持ちだし、商品企画力も非常に富んでいる。しかし、こういった数字から大丈夫だという判断での予算計上には至ってはいない。

また、販売施設については、自分たちが認識している案件は、まず特産協の単独での三セク化は留保。そして、これまでさまざまな計画を持っていたが、これも三セクの留保と同様に留保。

特産協の見通しは、これまで取り組んできた機能を吸収できるような形で、しっかりと一本化し、最終的には、住民の皆さまのための事業になるように、今、一生懸命整合性を取っている段階だ。

Q 山崎 正男議員

将来的に津波が想定されている場所への建設だが、今はそれよりも地域の振興策、これを優先するという考え方なのか。

A 大西 町長

産業振興を重視したが、さまざまな要素の中で総合的に判断をした。来年の秋冬には乗つけたいということが最大の判断基準だ。

Q 明神 昭男議員

まずは事業計画。また、運営方法は第三セクターのようだが、責任の所在はどうするのか。

A 大西 町長

まず商品がある、あるいは商品が作れる設備やその規模などがないと経営計画、収支計画は組めない。

このミニラボで人材育成、製造ノウハウの蓄積、そしてテストマーケティングの3つをしっかりとやった後、本体へできるだけ早く移行するとい

うのが全体の事業計画。運営方法は第三セクターを想定しているが、責任の所在については、現段階で明確にお示し出来るようになっていない。

Q 小松 孝年議員

72着の内訳は。

A 松本 情報防災課長

装備の方は主に消防車両に配備する予定。



缶詰工場建設予定地 (入野早咲)



松本 情報防災課長

■防災費臨時職員雇用賃金
南海地震対策として進めている避難道などの避難空間整備事業の用地関係の臨時雇用1名の経費。 148万円

■大方あかつき館改修工事設計委託費
同館の雨漏り等の改修の設計 114万円

■非常備消防費消耗品費
消防団員用のライフジャケット72着を購入。 399万円



大方あかつき館

■平成25年度黒潮町給与等集
中処理特別会計補正予算

一般会計などそれぞれの会計が、職員の給与減額措置と併せて人事異動等による人件費の調整を行ったことにより、減額補正。 可決(多数)

■平成25年度黒潮町国民健康
保険直診特別会計補正予算
診療報酬の返還金の補正。
職員の給与減額措置による減額補正。 可決(多数)